



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4092 URL <https://www.nippon-chem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 熊田 雄司 TEL 03-3636-8060
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,949	5.5	1,110	△34.2	1,134	△34.9	1,203	△3.9
2025年3月期第1四半期	10,379	16.2	1,688	382.5	1,741	286.5	1,252	334.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,005百万円 (△41.4%) 2025年3月期第1四半期 1,717百万円 (258.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	137.74	—
2025年3月期第1四半期	141.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	76,214	46,999	61.7
2025年3月期	75,105	46,395	61.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 46,999百万円 2025年3月期 46,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	46.00	—	46.00	92.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	4.3	3,200	△4.3	3,200	—	2,600	1.6	297.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	8,922,775株	2025年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	187,076株	2025年3月期	187,076株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	8,735,699株	2025年3月期1Q	8,822,052株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかに回復しつつあるものの、原燃料価格の高止まり、不安定な世界情勢、物価の上昇等に加え、米国の通商政策の影響により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる成長戦略の推進と新たな価値の創造に向け、サステナビリティ経営の推進をベースとした「事業拡大と体質強化」、「グローバル化の推進」、「新たな価値の創造」という3つの重点施策に、全社一丸となって取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、化学品事業、機能品事業ともに売上数量の増加が見られ、売上高は増加しました。一方で営業利益につきましては、電池材料における原材料市況価格の変動と販売価格への転嫁にタイムラグが生じたことや、前年度に発生した棚卸資産の評価損の減少効果が剥落したことで減少しております。

その結果、売上高は109億4千9百万円（前年同期比5億7千万円増）となり、営業利益は11億1千万円（同5億7千8百万円減）となり、経常利益は11億3千4百万円（同6億7百万円減）となりました。

この経常利益に固定資産売却益5億8百万円の特別利益を加え、固定資産除却損3千4百万円、関係会社清算損5千8百万円の特別損失及び法人税等4億7百万円を差引き、更に法人税等調整額6千万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億3百万円（同4千8百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。シリカ製品は堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。燐製品は堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、化学品事業の売上高は、47億8千3百万円（同2億4千万円増）となりました。

②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は有機合成用触媒原料が大幅に落ち込んだものの、海外向け触媒や量子ドット向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。農薬原体は主要顧客向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。電池材料は資源価格の下落により、売上高は大きく減少しました。電子セラミック材料は車載向けが堅調に推移したことに加え、通信向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。回路材料は異方性導電材料向けが低調に推移したことに加え、接着剤向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。高純度電子材料は、半導体向けで需要が回復したことにより、売上高は大きく増加しました。この結果、機能品事業の売上高は、58億7千万円（同4億5千万円増）となりました。

③賃貸事業

賃貸事業は、堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、賃貸事業の売上高は、2億3千4百万円（同5百万円増）となりました。

④その他

書店事業は、前年度に事業を撤退しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は大幅に減少し、6千万円（同1億2千5百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億9百万円増加し、純資産は6億3百万円増加しております。その結果、自己資本比率は61.8%から61.7%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が3億2百万円減少し、売掛金が20億4千万円増加し、商品及び製品が1億2千1百万円減少し、仕掛品が1億8千5百万円減少しております。

固定資産では、有形固定資産が2千2百万円減少し、投資有価証券が1億4千9百万円減少しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が5億1千8百万円増加し、未払法人税等が2億2千3百万円増加し、賞与引当金が3億6千8百万円減少し、設備関係未払金が3億9百万円増加しております。

固定負債では、繰延税金負債が1億4千4百万円減少し、退職給付に係る負債が6百万円減少しております。

株主資本では、利益剰余金が8億1百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が1億1千2百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、第1四半期の実績および現時点で入手可能な情報に基づき、2025年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想を修正し、売上高405億円、営業利益32億円、経常利益32億円、親会社株主に帰属する当期純利益26億円に上方修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績につきましては、様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,927	7,625
受取手形	85	73
電子記録債権	1,143	979
売掛金	8,987	11,028
商品及び製品	5,470	5,349
仕掛品	3,377	3,192
原材料及び貯蔵品	3,530	3,474
未収消費税等	124	195
その他	813	813
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	31,448	32,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,532	39,328
減価償却累計額	△25,702	△25,703
建物及び構築物（純額）	13,830	13,624
機械装置及び運搬具	22,686	22,437
減価償却累計額	△14,712	△14,809
機械装置及び運搬具（純額）	7,973	7,628
土地	7,459	7,122
建設仮勘定	3,928	4,719
その他	6,996	7,033
減価償却累計額	△5,888	△5,850
その他（純額）	1,107	1,182
有形固定資産合計	34,300	34,277
無形固定資産		
その他	429	450
無形固定資産合計	429	450
投資その他の資産		
投資有価証券	4,548	4,399
長期貸付金	25	31
繰延税金資産	101	86
退職給付に係る資産	4,039	4,040
その他	234	233
貸倒引当金	△21	△23
投資その他の資産合計	8,926	8,766
固定資産合計	43,656	43,494
資産合計	75,105	76,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,555	4,074
短期借入金	10,575	10,575
未払法人税等	178	401
未払消費税等	31	27
賞与引当金	480	112
設備関係未払金	2,570	2,879
その他	2,716	2,698
流動負債合計	20,106	20,767
固定負債		
長期借入金	4,500	4,500
繰延税金負債	1,914	1,769
退職給付に係る負債	200	194
その他	1,987	1,982
固定負債合計	8,602	8,446
負債合計	28,709	29,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,267	2,267
利益剰余金	33,719	34,520
自己株式	△476	△476
株主資本合計	41,267	42,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,105	1,993
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	135	119
退職給付に係る調整累計額	2,887	2,818
その他の包括利益累計額合計	5,128	4,930
純資産合計	46,395	46,999
負債純資産合計	75,105	76,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,379	10,949
売上原価	7,331	8,545
売上総利益	3,047	2,404
販売費及び一般管理費	1,359	1,293
営業利益	1,688	1,110
営業外収益		
受取利息及び配当金	85	86
持分法による投資利益	—	13
その他	26	24
営業外収益合計	111	125
営業外費用		
支払利息	27	31
持分法による投資損失	12	—
その他	18	69
営業外費用合計	58	100
経常利益	1,741	1,134
特別利益		
固定資産売却益	—	508
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	508
特別損失		
固定資産除却損	35	34
関係会社清算損	—	58
特別損失合計	35	93
税金等調整前四半期純利益	1,729	1,549
法人税、住民税及び事業税	234	407
法人税等調整額	242	△60
法人税等合計	477	346
四半期純利益	1,252	1,203
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,252	1,203

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,252	1,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	462	△112
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	63	△15
退職給付に係る調整額	△60	△68
その他の包括利益合計	465	△197
四半期包括利益	1,717	1,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,717	1,005

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「受取手形」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形」に表示していた1,228百万円は、「受取手形」85百万円、「電子記録債権」1,143百万円として組み替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	935百万円	952百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,543	5,420	228	10,192	186	10,379	—	10,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16	4	21	76	97	△97	—
計	4,543	5,437	233	10,214	262	10,477	△97	10,379
セグメント利益又は損失(△)	460	1,082	139	1,682	△0	1,682	6	1,688

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,783	5,870	234	10,889	60	10,949	—	10,949
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16	6	23	69	92	△92	—
計	4,783	5,886	241	10,912	129	11,042	△92	10,949
セグメント利益又は損失(△)	391	577	139	1,108	△5	1,103	6	1,110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境測定等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。